

精神障がいの親と暮らす

第8回 全国版子どもの集い・交流会



日時:2020年11月7日(土) 13:00~16:00
Zoomによるオンライン開催(参加費無料)

13:00~ 挨拶・オリエンテーション
13:10~14:15 『学校教育における子ども支援』
▶スクールソーシャルワーカーの立場
▶養護教諭の立場
▶学校長の立場
▶親・子ども・支援者を支える立場
14:30~15:15 グループで意見交換・共有
15:20~15:50 全体共有

参加対象:精神障がいの親と暮らした経験のある子ども
親・子を支援する立場にある方

*参加申し込みは、裏面をご参照ください

主催:親&子どものサポートを考える会
<http://www.oyakono-support.com/>

後援:特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)
学校法人 鈴鹿医療科学大学

問合せ先:鈴鹿医療科学大学 看護学部 土田 幸子
Mail: sachiko@suzuka-u.ac.jp TEL: 059-340-0855

《全国版 子どもの集い・交流会のご案内》

遠くの地域におられる方にも「語りの場」にお越しいただこうと2013年から始めた『全国版 子どもの集い・交流会』仲間と出会う話せる場として“対面”を基本に交通の便の良いところで…と開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染予防を考え、2020年はオンラインでの開催にさせていただきました。カメラをオンにさせていただくことで、顔は拝見できるとはいえ話すタイミングが難しくなったりするので、今回は「小グループでの語り」は中止させていただき、全体会を中心にした企画に変更させていただきました。

皆で話せるテーマは何だろう？と考えた時に、学校で「学校でこんな支援が欲しかった」とか、「学校の〇〇に助けられた」とか学校に対する思いは皆、何かしら持っているのではないかと考えました。精神障害のある親と暮らす子どもたちの「生きる」と「未来」を応援しようと **TKLF (チームクリフ)** という団体を作って活動しています。TKLFの紹介とともに、全体会では以下の話題提供をいただきます。

- ▶ 子ども／ソーシャルワーカーの立場より 東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 長沼葉月先生
TKLFを立ち上げた背景や、なぜ「チーム学校」に注目したのか、スクールソーシャルワーカーにできることをお話しいただきます。
- ▶ 養護教諭の立場より 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 上原美子先生
養護教諭として子どもたちの小さな変化に気づく目を持つこと、学校生活だからこそできることを一緒に考える機会になればうれしいです。
- ▶ 学校長の立場より 桑名市立明正中学校 谷岡伸悟先生
「学校ができること～子どもを真ん中にすえて、問い続けながら～」をテーマにお話しいただきます。
- ▶ 親も子どもも学校も応援する後方支援。啓発の意味で考えていること ぷるすあるは 北野陽子先生・ちあきさん
絵本やウェブサイトの情報が、3者をつなぐ安心につながるツールになるように 活動を通して考えておられることをお話しいただきます。

今回の集いは、皆さんから学校に対する思いを聞かせていただく機会にもなるので、日ごろ親子の支援に携わっておられる方にも、ご参加いただこうと思っています。話題提供の後のグループでの意見交換・共有は、子どもグループ・支援者グループに分かれて行いますので、安心してご参加ください。



《参加申し込み》

参加を希望される方は、右のQRコードからお申し込みいただくか、以下の内容を11月1日(日)までに下記の申し込み先にご連絡ください。お申し込みいただいた方には、こちらから受付完了の連絡を入れさせていただきます。



— 申し込み時にご連絡いただきたい内容 —

①氏名、②年齢、③連絡先(メールアドレスなど)、④立場(子どもの立場 or 支援者の立場)、⑤支援者の方は所属先と職種、⑥Zoom参加時の表示名(呼んで欲しいお名前を付けていただいても構いません)、⑦参加動機、⑧ご質問やご要望など

ZoomのURLや参加のルールなどにつきましては、お申し込みいただいたメールにご案内させていただきます。

連絡先: 親&子どものサポートを考える会 世話人代表 (土田幸子)

メールアドレス: sachiko@suzuka-u.ac.jp

電話: 059-340-0855 (不在の場合は再度おかけ直してください)